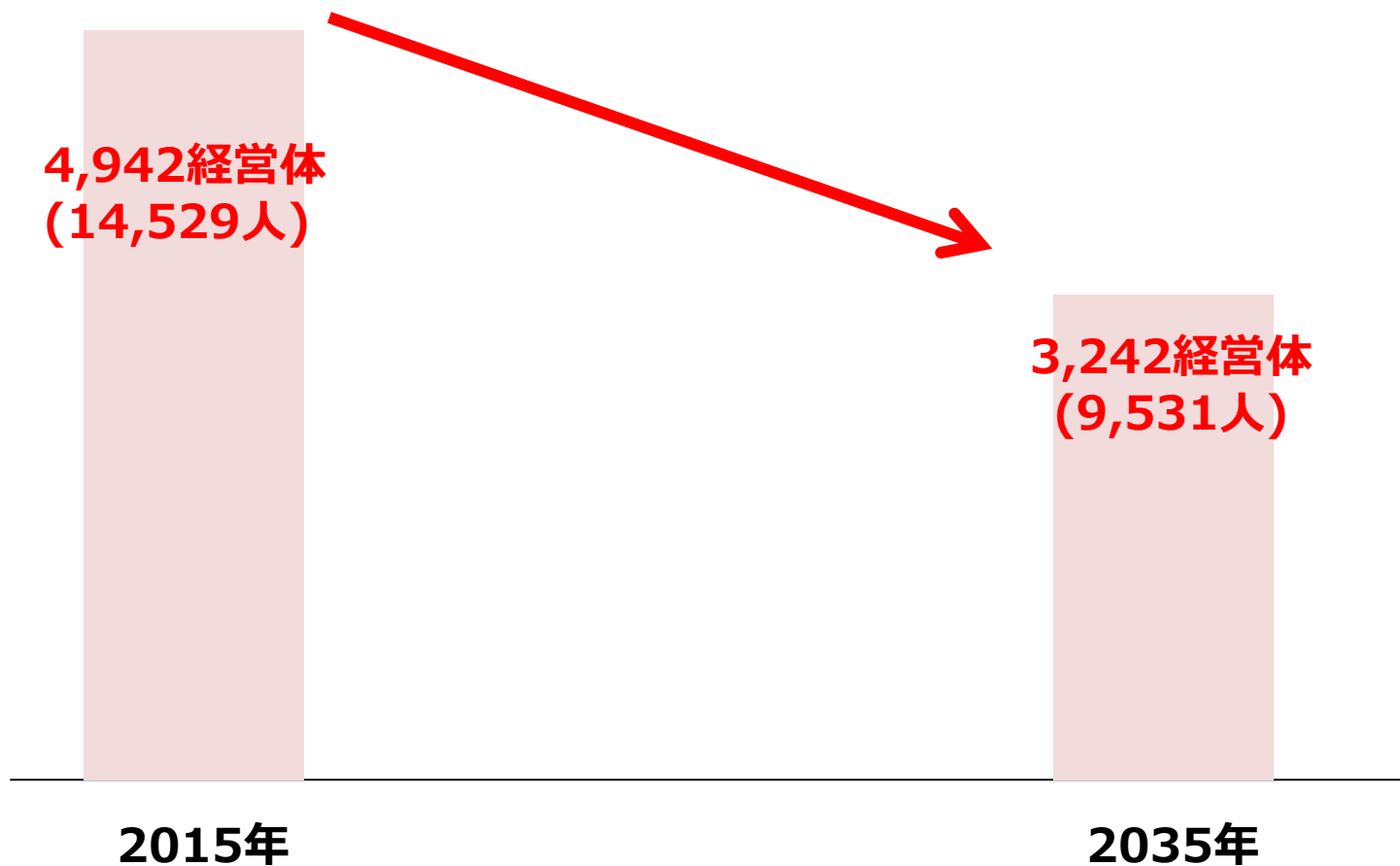


課題整理

りんご経営体及び従事者の推移



弘前市「りんご産業イノベーション戦略」の試算によると、生産者の高齢化により、**りんご農家数は減少の一途を辿ると**予想されている。

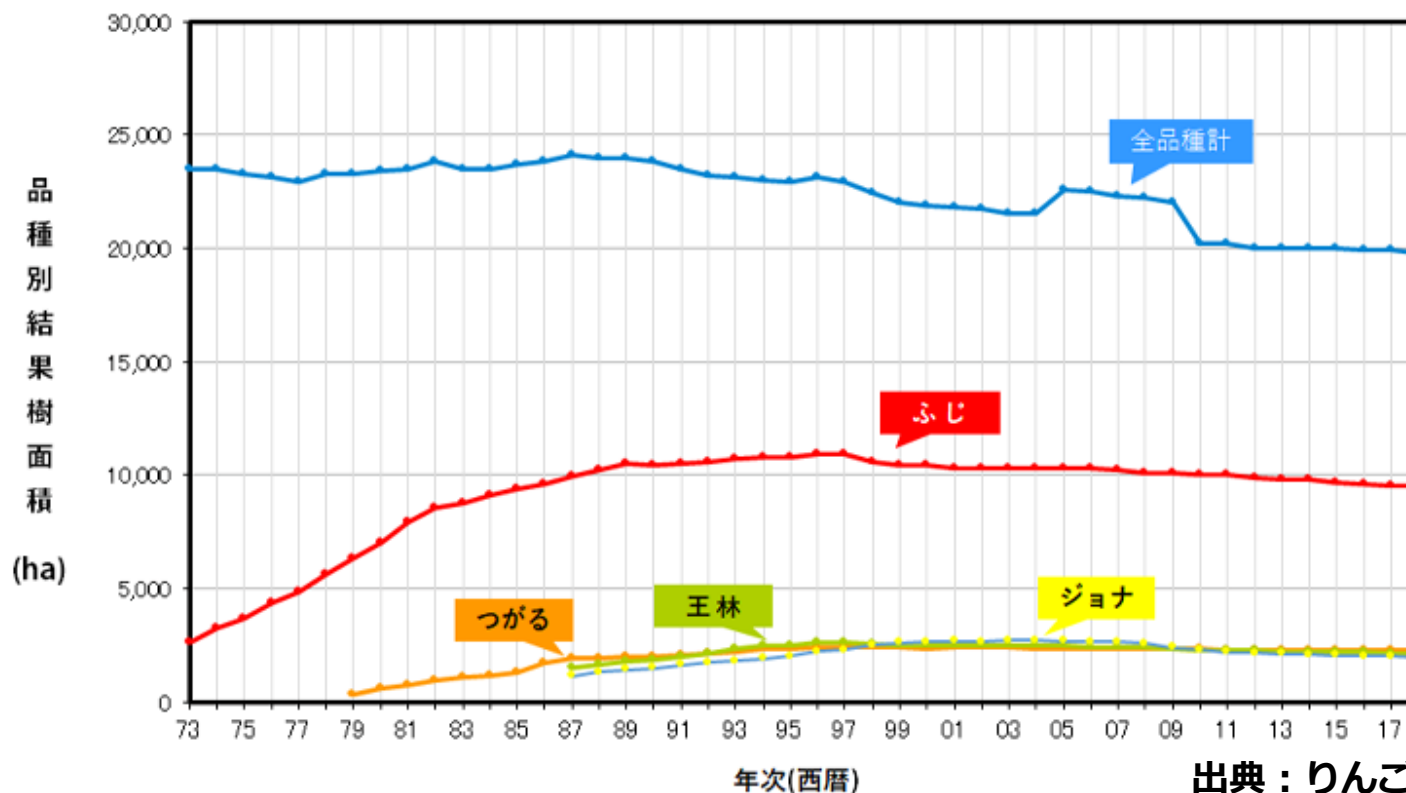


青森県の品種別結果樹面積



県内の果樹面積は緩やかに減少傾向にある。耕作放棄地の増加や転作により、今後**急速に果樹面積が減少する可能性**がある。

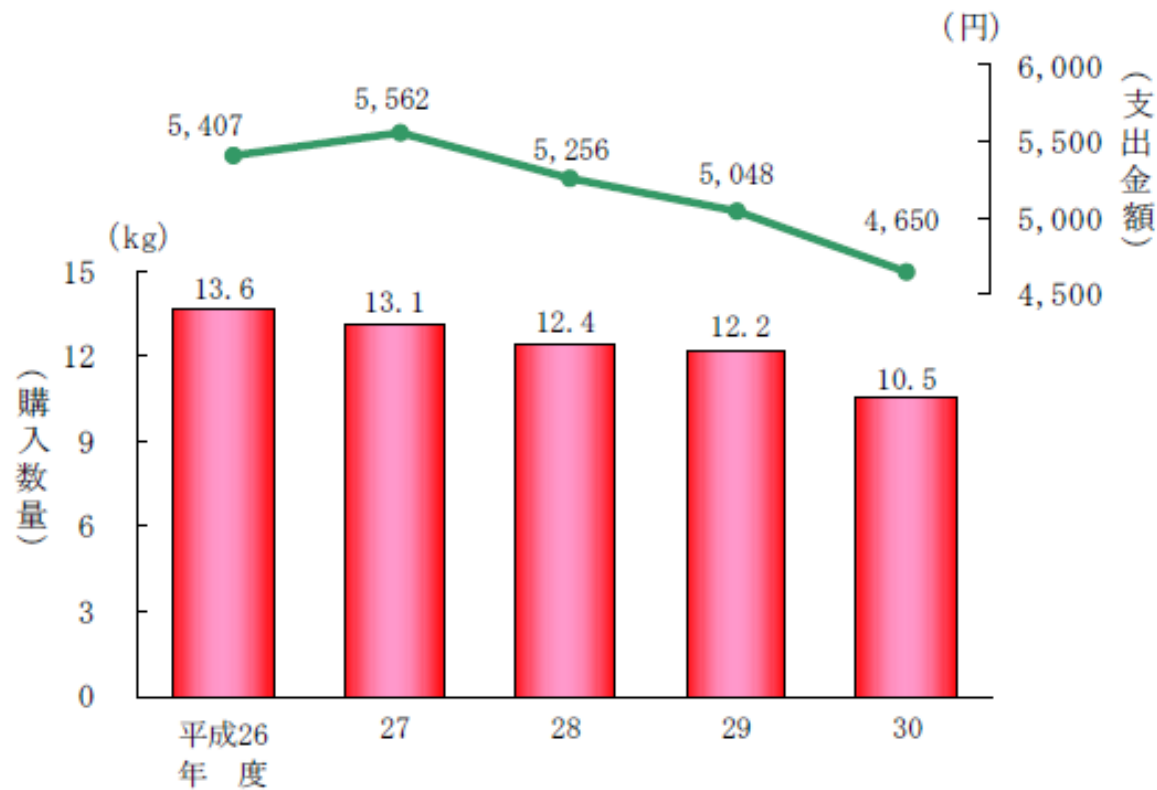
青森県の品種別結果樹面積の推移



出典：りんご大学

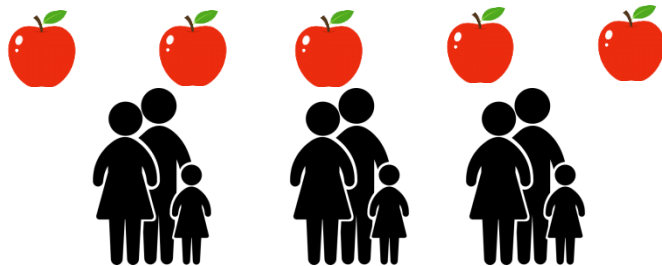
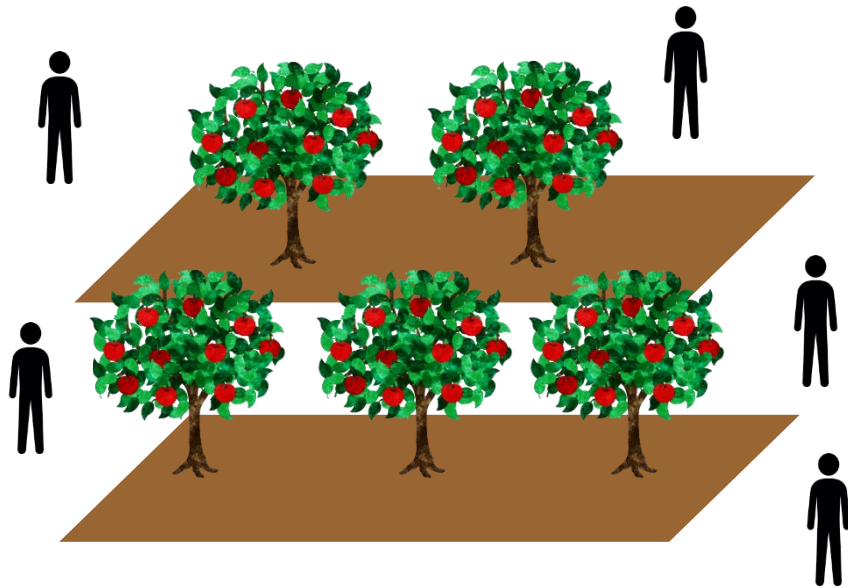
りんご 1世帯当たり年間支出額及び購入数量の推移 RMC Co

人口減少や食生活の多様化により、国内のりんご需要は減少傾向にあり、今後もこの傾向は続くことが予想される。

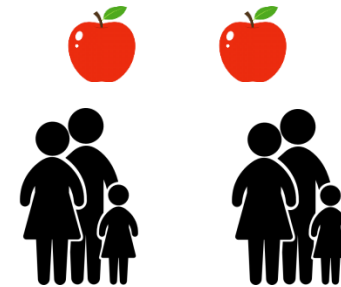
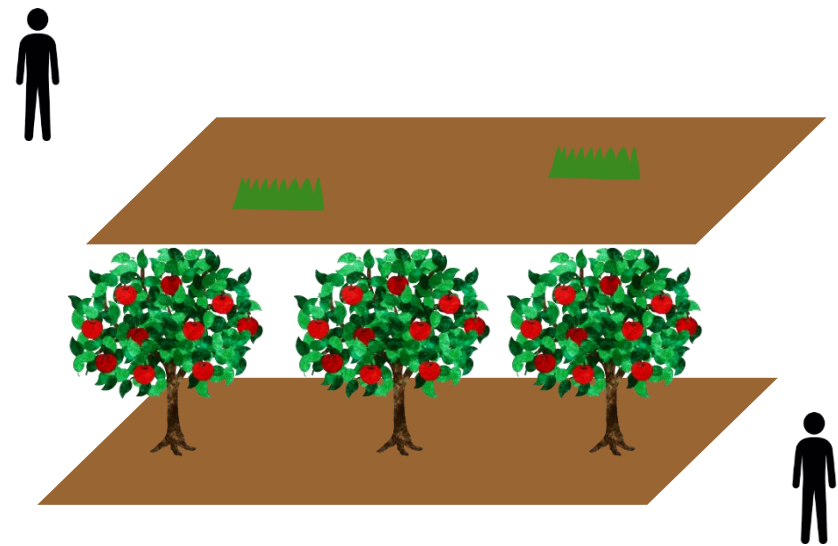


資料：総務省「家計調査」(家計収支編)(二人以上の世帯)
注：数値は、月別値を積み上げて算出したものである。

現在



将来？



【参考】りんご産業の課題 (りんご産業イノベーションより)



生産分野

- 高所での作業による負担軽減 (機械化含む)
- 重量物の運搬による負担軽減 (機械化含む)
- 更なる作業工程の高効率化
- 新たな仕立て方・栽培手法の導入
- 新たな働き方の確立
- 労働力の確保
- 職業としての魅力増大
- グローバル化を見据えた国際標準への対応

流通分野

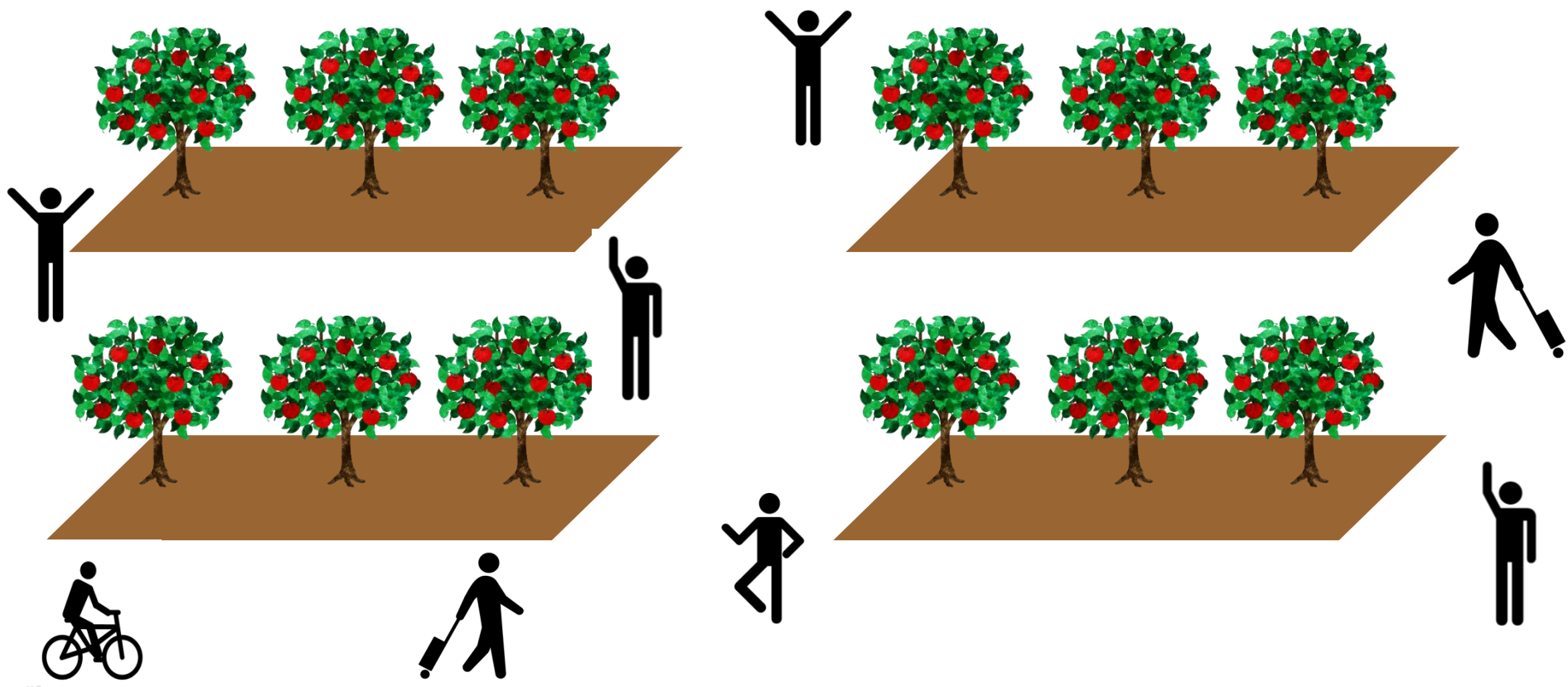
- 集出荷システムの更なるオートメーション化
- 重量物の運搬による負担軽減 (機械化含む)
- コールドチェーンの構築による更なる保冷・鮮度維持
- 小口需要に対応した物流システムの構築
- 戦略的な消費拡大と国内需要の掘り起し
- T P Pを見据えた販売戦略の構築
- 新たな輸出先の開拓
- バリューチェーンの構築による高付加価値化
- グローバル化を見据えた国際標準への対応

加工分野

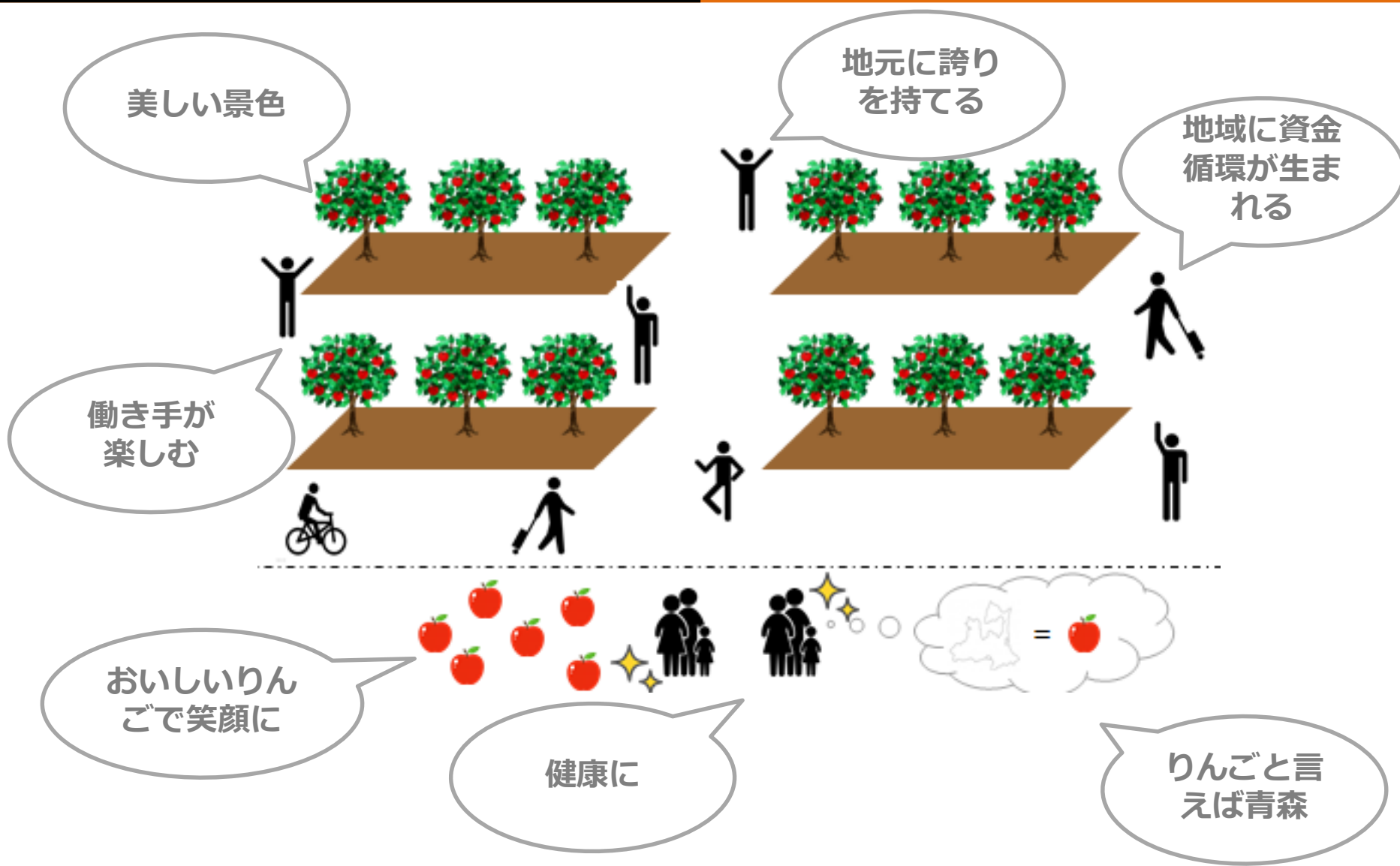
- ニーズを捉えた新商品開発及び販路開拓
- 原料及び加工品の高付加価値化
- 加工専用も含めた新たな生産モデル構築
- 長期保存や加工に適した新品種の育成
- 地域内加工体制の強化
- 健康機能性を活かした新商品開発

Vision


つくりたい未来 (なぜりんごを作るのか)



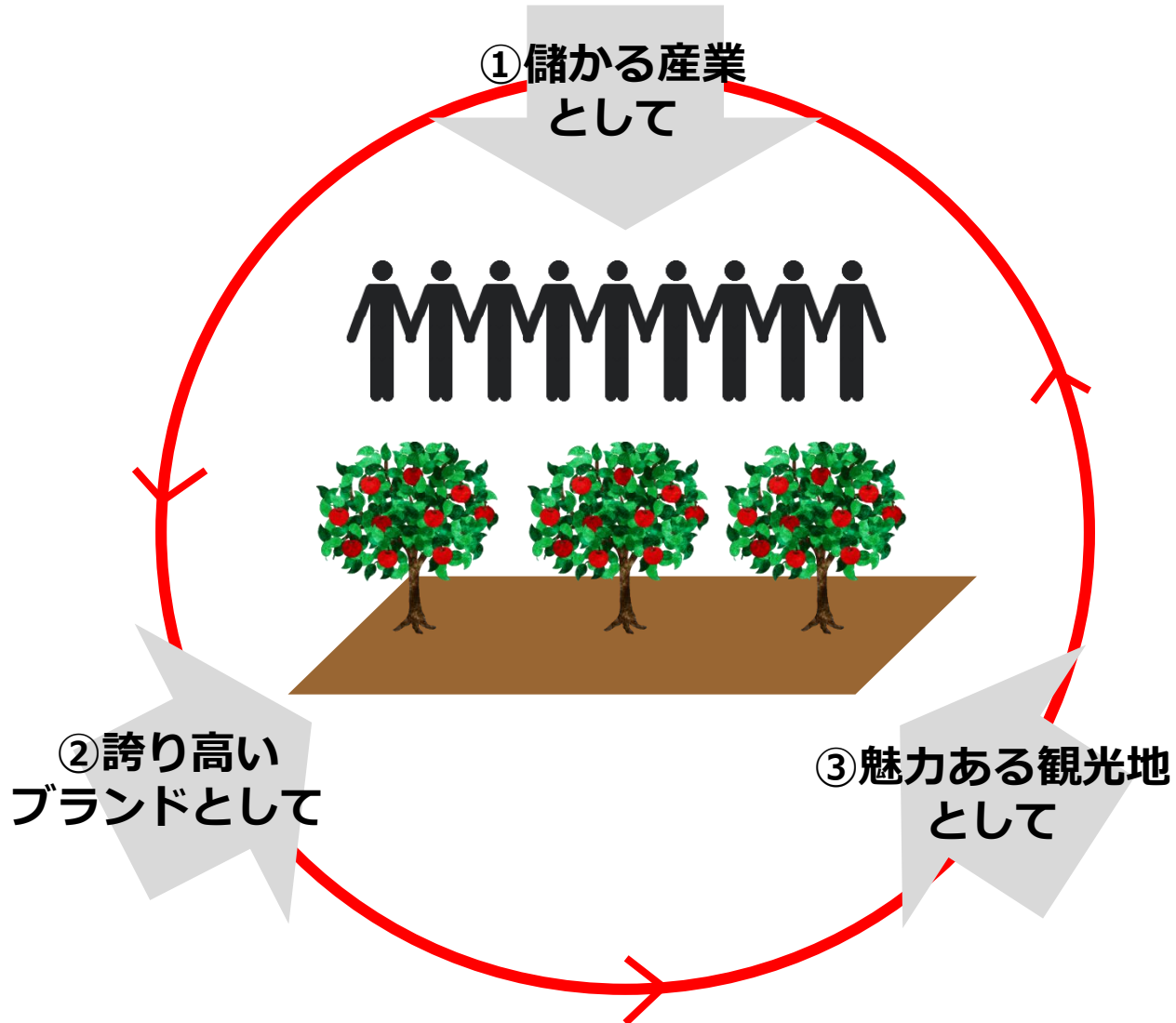
つくりたい未来 (なぜりんごを作るのか)



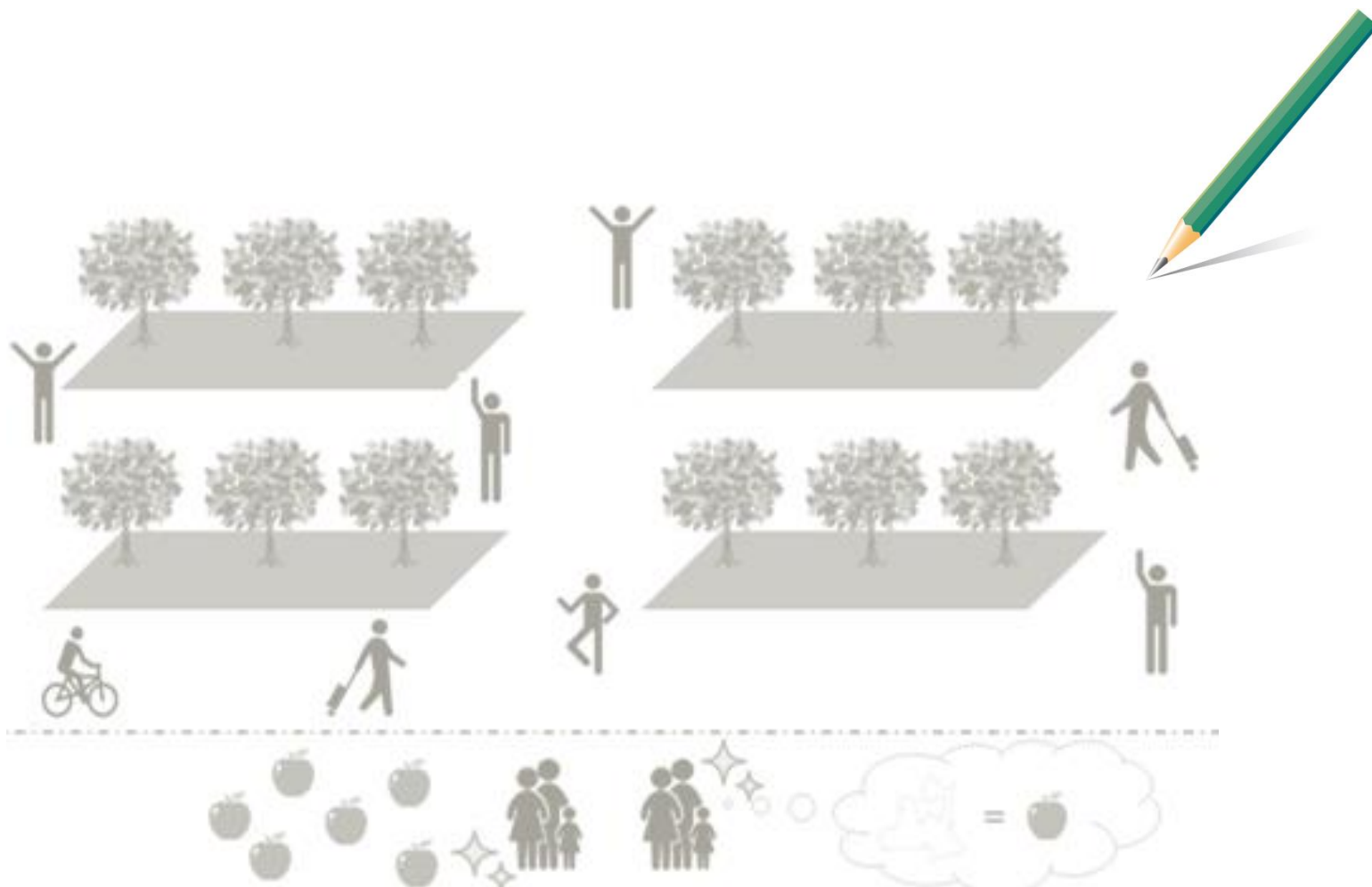
品質 健康 いつでも
真っ赤
笑顔 誇り おいしい
景色 楽しい 香り
幸せ 美しい 観光



美しい青森りんごを継承し、
新しい未来のりんごを創造する



はじめに・・・つくりたい未来を考えましょう！



おかもと たかひろ

岡本 享大



1993年生まれ。慶應義塾大学法学部政治学科卒業。2015年に小田急電鉄株式会社に入社し、現場研修を経て現在の事業企画部に配属。新規事業担当として、主に3つの新規事業の企画から運営まで従事。中小企業診断士としても幅広く活動中。事業構想大学院大学修士課程。